

消費者として必要な批判的意識の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立社高等学校 富澤 廣平

本時の目標 ・自分で設定した消費者問題について、インターネットを用いて情報を収集・精査し作成したプレゼンテーションを発表することができる。 ・他者の発表を聞くことで、新たな知識を得るとともに消費者として批判的意識を持って行動することができる。	校種・学年	高等学校・1年
	教科・領域	家庭・消費生活
	アプリ・ソフト	・Teams ・PowerPoint ・Forms
	備考	

○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> プレゼン発表を通して、新たな知識を得るとともに批判的意識を持った消費者として行動できる力を養う。 </div> ○各自で作成したプレゼンを準備する。 ◆Teams を開いておくように指示する。 ◆プレゼン方法を事前に指導しておく。
展開	○グループごとに発表をする。 ○発表ごとに必ず1人は質問をする。 ○発表後は自己評価および他者評価を1枚のポートフォリオにまとめ、Forms 上に入力する。 ◆机間巡視をしながら質問が出来ていない班に声掛けをする。 ◆評価は後日、各自にフィードバックする。
まとめ	○消費者問題を通して、批判的意識を持つことの必要性について確認する。 ◆今後、消費者としてのどのように行動するかを考えて1枚ポートフォリオにまとめる。

育成できる情報活用能力

- ◎インターネットを用いた効果的な情報の検索と検証の方法
- ◎簡単な図表やグラフを用いた情報の整理方法
- ◎複数の情報から問題を構造的に理解する
- ◎課題に関係する情報を見つけようとする

育成できる情報活用能力

- ◎相手や目的を意識したプレゼンテーションの方法
- ◎プレゼンテーション、Web ページ、SNS 等によって表現・発信、創造する
- ◎聞き手とのやりとり等を取り入れて、効果的に表現する
- ◎物事を批判的に考察し判断しようとする

生徒の感想
・プレゼンで発表する時に話し方やスピードを意識した。質問に対してもすぐに答えることができたので、自分なりに内容を理解しておいた成果が出た。 ・成年になるまでに2年間しかないのに知らないことが多いことに気づいた。これからは自分で情報を集めて、考えて決めていく力を磨いていきたい。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・複数の題材から生徒自身がテーマを選択することで、意欲的にプレゼンを作成することができる。また、班員から別テーマのプレゼンを聞くことで多様な知識を合理的に吸収することができる。
- ・他者評価をフィードバックすることで、自身の発表について深く振り返ることができる。